

AI 通信

51号
2021年
10月

2021年度 理事会 5月10日に理事会を開催しました



中国語教室

9月は「通信講座」を実施しました。緊急事態宣言下でも続けています！



ペルーヘピアニカを送る運動
事業スタッフがピアニカをきれいにし、寄託先へ送ります。



目次

- 2ページ...ごあいさつ 顧問 静岡県議会議員 藤曲 敬宏
- 3ページ...「7月3日のこと」 鄭 舒婷(テイ シュウ チン)
- 4ページ...ペルーヘピアニカを送る運動 西岡ルイサ
- 5ページ...ペルー風プディングの作り方
- 6ページ...団体紹介 熱海南ロータリークラブ
- 7ページ...ご支援、ご寄付のご報告
- 8ページ...行事のお知らせ

熱海市の外国人市民数(2021年9月)

653人

(2021年1月の外国人市民数は、654人)

発行元：熱海国際交流協会
熱海中央町1-1第3庁舎1階生涯学習課内
TEL0557-86-6233
kokusai@atami-ai.jp

ごあいさつ

7月3日午前11時ごろ、発災直後に友人から送られてきた伊豆山の土石流の衝撃的な映像が、今でも鮮明に記憶に残っています。

3か月が経った今も行方不明の方の発見を待ち望むご家族があり、生活や雇用の場を失った方々にとって生活基盤の再建にはまだまだ時間がかかりそうな状況が続いております。改めて尊い命を失われた方々に、謹んで哀悼の意を表しますとともに、未だ不自由な生活を送られている方々をはじめ、被災者の皆様に心からお見舞いを申し上げます。

また、発災直後より自衛隊をはじめとした消防、警察の皆様が全国から気持ちを一つにして駆けつけてくださり、連日厳しい暑さの中、早朝より全身泥だらけになりながら手作業による必死の救出作業に従事して下さいました。伊豆山に思いを馳せ、「何か力になれることはないか」という一心でボランティアに参加している方々、活気溢れる街を取り戻そうと懸命に支援活動に取り組んでおられる多くの方々のご尽力に深い敬意を表します。

支援物資や義援金なども信じられないスピードで広がり、全国各地から物心両面での応援が今もなお、届けられています。頂戴しました心温まるお見舞い、応援のメッセージは何よりも大きな心の支えになっています。日本のみならず、世界各国のみなさんから寄せられたご支援を糧に被災された方々の心身面に配慮しながら、少しずつ立ち直っていかなければなりません。加えて県政に携わるものとして、犠牲者の無念の思いに報いる為、災害の原因究明とともに、このような災害を二度と繰り返さない仕組みへと法制度の見直しに取り組んでまいります。

全国は未だ新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中であって、熱海も例外なく観光地として打撃を受けています。まだまだ復旧、復興という言葉さえ使うことが憚れるのが現実です。いずれ必ず多くの観光客が熱海の復興、復活を願ってやってくるでしょう。市民として、どのように伊豆山を支援し、復興を進めていくのか、認識を一つにするには一人一人のお力が必要です。国際交流協会をはじめ諸団体が協力をして、誠心誠意「おもてなし」の心をもってお迎えすることこそ、大きな恩返しになると考えます。

一方、外国人市民からは、以前より「給水所という言葉がわからない」、「避難所を知らない」という意見が寄せられていました。災害時、外国人市民から受けた相談では、日常生活を取り戻す中で、仕事への復帰や子育ての環境など些細な変化に不安を感じるようになりました。また、「ボランティア活動に参加したい」と申し出てくれた外国人市民が何人もいました。

コロナ禍で交流イベントが縮小される今、災害時に外国人市民と連絡を取り合ったのは、主に日本語ボランティア講師や事業スタッフです。外国人は文化や言葉の違いから災害弱者になりやすいと言われますが、普段から話し合える環境や信頼関係があれば、災害時に日本人・外国人が協力して助け合うことができます。協会が長年取り組んできた語学教室や交流事業を継続し、外国人市民と「つながる場」が広がるよう引き続き努めていきたいです。

静岡県議会議員 熱海国際交流協会顧問 藤曲 敬宏

7月3日のこと

鄭 舒婷(テイ シュウ チン)

この日の出来事を簡単に説明します。

朝10時半頃にパソコンやっている時、急に停電してすぐに復旧しました。2回繰り返しました。ちょっとおかしいと思ったけどパソコンの作業を続けていました。この時、救急車の音が鳴ったり、仲道公民館の放送で「〇〇〇へ、避難してください」と聞こえたりしました。正直、内容がよく分かりませんでした。伊豆山は老人ホームが多くてよく救急車の音が聞こえるので、私は気にせずずっとパソコンをやっていました。



11:00になった頃、停電になってトイレの水が流れなかったので断水に気が付きました。11:00以降 サイレンがずっと鳴って救急車の音がどんどん大きくなりました。主人からの電話で「伊豆山は土砂崩れが発生している。荷物用意して避難して！」と言われました。電波状況が悪くて電話がすぐ切れしました。主人に言われた通り、荷物を用意しました。11:00以降の私は居ても立っても居られない、何処に避難しても分からない状況でした。主人は仕事の途中で私の事を心配して職場から帰ってきて、簡単な事を話して又職場に戻りました。

12時前、再び主人からの電話で「ホテルは営業中止になった。今からホテルに来て避難してください。」と言われたのでホテルに行きました。主人と同僚を見て安心しました。同僚が私の携帯に土石流の動画を送ってくれました。動画を見た瞬間、鳥肌が立ちました。小さい範囲の土砂崩れだと思っていました。

午後、たくさんの避難者がホテルに来て、同僚と同僚の家族も全員ホテルに避難しました。避難者の方が多いので晩御飯の前に主人と調理場の方はいっぱいおにぎりを作って皆に配りました。夜7:00頃、2人はやっと落ち着いて部屋でテレビを見て家族に連絡しました。行方不明の同僚のことも気になって夜は全然眠れませんでした。

いつ災害が起こるか凄く心配です。それから8日間はホテルで生活しお昼と晩御飯は主人と一緒に厨房で作って頂きました。避難者の方は2日後、他の安全なホテルに移動しました。私達は8日間ホテルに避難生活をしました。この8日間、毎日朝5時6時頃にたくさんの救急車が伊豆山地区にサイレンを流して入ってきました。サイレンを聞いて土砂崩れのニュースを見て悲しくて泣けてきました。今回の土砂崩れで同僚と知り合いが亡くなりました。6年間ずっと伊豆山に住んでいるのにこんな大きな土砂崩れが発生するなんて、今まで考えたことがなかったです。私より何十年と住んでいる方もきっと考えたことなかったと思います。

今回の事で私と主人は深く反省しました。何があっても警報が発令されればすぐ避難、命が第一です。災害はいつ起こるか分かりません。自分の住んでいる所は安全とは限りません。

目の前の人と絆を大切にしてください。これからは生きて行こうと思います。



ペルーハピアノカを送る運動

西岡ルイサさん にお話を聞きました

ペルーへの輸送状況や受け取る学校が定まらないため、今年度はピアノカの収集を見合わせました。倉庫に保管していたピアノカ4つを修理、掃除をして静岡県内のボランティア団体を通じ、外国人学校へ寄贈しました。

(ルイサさん) コロナで大変な時なのに、熱海は伊豆山の災害でとても大変だと思います。そんな中、前に集めたピアノカを大切に保管し、きれいにしてくれてありがとうございます。協力してくれたみなさんに感謝しています。

伊豆地域に住んでいる南米出身の外国人の中には、コロナで仕事が減っていて、生活が苦しい人がいます。仕事が減って残業ができません。私はときどき、三島市を中心に活動をしている「Casa de amigos」(カサ・デ・アミーゴス)に協力をして、不要になった防災食、フリーズドライのご飯や缶詰を集めて困っている人に分けています。ボランティアのみんなが集まることができないので、少しの人数でできることを考えて活動しています。他には、給付金や生活一時金の申請をする外国人のためにボランティアで通訳をしています。

ペルーの郵便事情が良くないので、ピアノカを送ることができないと思いますが、日本製のものはきれいだし、音も良くて長く使えるのでみんなが喜びます。4年前にもらったピアノカは今も大切に使っています。

(AI スタッフ) 今年度、ピアノカを送る代わりに何か AI ができることはありますか？

(ルイサさん) 私の故郷、ピウラ県では、貧しい人にマスクが行き渡らないのです。マスクは1枚35円ぐらいします。タクシーの運転手、レストラン、メルカド(市場)で働く人たちはコロナで仕事が減っていて、マスクを買えません。私は、小さな箱にマスクを詰めてペルーへ送っているのですが、もし、家に使わないマスクがあったらぜひ協力をして欲しいです。

2021年は、ペルーハマスクをおくる運動

- 集めるマスク:未開封、未使用、個包装の不織布のマスク
- 期間:2021年12月20日まで
- 受付場所:AI 事務局、またはお知り合いの AI 会員へ託してください。
- 300 枚程度、集まりましたら西岡ルイサさんへお渡しします。
- ペルーへの郵送料のご寄付もお願いします。100円~受け付けます。

ルイサ直伝！



ペルー風 プディン(パンで作ったプリン) の作り方

Peruvian Budín de Pan Recipe

材料 (10 人分)

前の日に残ったパン 500グラム
牛乳1リットル
砂糖 200グラム
卵 3個
干しブドウ 50グラム
クルミ 50グラム
バニラエッセンス 少々

準備

- パンは小さく切る
- 牛乳を加える
- パンの耳が柔らかくなるまでよく浸す



作り方

1. パンの耳がわからなくなるまで牛乳に浸したら、その後、砂糖を加え、良く混ぜる。
2. 卵を加えてよく混ぜる。
3. 干しブドウやクルミを混ぜる。
4. バニラエッセンスをお好みで数滴加えます。
5. 金型にバターを塗って、生地を流します。
6. 200度に加熱したオーブンに入れて、45分焼きます。
7. 様子を見ながら、箸や楊枝を刺して生地がついてこなかったら焼き上がりです。
8. 焼き上がったら、型より一回り大きいお皿をかぶせ、ひっくり返して型から外します。
9. はちみつ、または黒みつを添えていただきます。

今回は熱海南ロータリークラブ 吉田耕之助会長にインタビューしてきました。

AI スタッフ（以下 AI）：長引くコロナ禍、クラブの活動はいかがでしょう？

会長：月に2回程度の例会が開けなくて困りますね。メンバー同士が会って情報交換して、活動が広がっていくのがロータリーの良さなのにコミュニケーションが図れない。交換留学のように、人が行き来するような国際交流に関わる事業がすべて休止となってしまった。とても残念です。

AI：ロータリーの良さについて教えてください。

会長：現在、当クラブでは41才～90才まで13名の会員が活動をしています。ロータリーの理念は「職業奉仕」です。若い方から人生の先輩まで、幅広い年代のロータリアンが自分の職業を通じて社会へ奉仕しよう、色々な人と交流し自己研さんに励もうという考え方は、人生哲学だと思います。

AI：長年の活動の中、特に思い出に残った活動はありますか？

会長：自分は熱海南クラブに入って40年のロータリアンです。地区大会で千宗室さんの講話を聞いたことが思い出深いです。今はしていませんが、「オイスカ」という制度で熱海高校の生徒をフィリピンやタイ、マレーシアへ植林フォーラムに派遣し、マングローブを現地の人々と一緒に植林したり、子どもに日本の遊びを教えたり奉仕活動する企画、それから「GSEプログラム」という交換留学制度に熱海のホテル勤務の社員が参加したことがあります。高校生は空港までの送迎や出発式、帰国報告会など、いろいろな準備がありますが、参加者が一回り大きく成長されて活躍する姿を見るととても誇らしく感じます。今年度の事業計画は、「陽光の園」へ作業環境をよりクリーンにできるよう、地区の補助金と合計して空気清浄機、発電機、充電式クリーナーの贈呈が決まっております。尚、現在ポリオ撲滅キャンペーン(小児麻痺)の取り組みは、世界で後2名と報告を受けています。当クラブでは、去年は熱海駅前、地元ボーイスカウト・ガールスカウトの子供たちと募金活動を実施しましたが、今年はコロナの影響で中止となりました。

AI：先月、新聞に掲載された「7月3日の伊豆山の災害へ世界のロータリークラブから6100万円のご寄付」という記事を拝見しました。国際ロータリークラブ様の迅速な熱海へ寄せられるお気持ちに、どれだけ救われたかと思います。

会長：静岡、山梨以外にも、熱海南クラブへご寄付が届けられ、先日、第2回目の義援金合計1300万円を届けました。「熱海」という地名を聞いて、「何かできることはないか？」と連絡を頂き本当にありがたかった。観光地・熱海ならではのと思いますが、ホテルや旅館が避難所になったことは注目を浴びたのではないのでしょうか。ここで経験した支援の在り方、防災について皆様へ伝えることが私たちの役割だと考えています。

AI: 私たちは大災害を前に、「何をしたら良いか？」手も足も出なかった。個人的なお話ですが、「オアシス21」という女性の会では、毎年作って販売している「だいたいマーマレード」の売り上げの一部をご寄付しました。AIのスタッフも、それぞれの持ち場で支援活動をし、募金をしています。「自分たちができること」を続けていくことが一番良いのかな、と思います。

会長: そうですね。7月の災害は熱海で生まれ育った私たちにとって大変ショックな出来事であり、涙なしには聞くことはできないことです。同時に、一步一步復興へ向けて前進しなくてはならない。世界へ目を向けると、日本は個人のコロナの対策の意識、食糧、医療、生活を見てもまだまだ豊かな国じゃないかと感じます。小さなことでも「自分たちができること」を続けていくことが熱海の復興へ繋がるのではないかと感じます。そして元気になった熱海へまた来てもらうことがみなさんへの恩返しになると信じ、ロータリアンとして頑張っていきたいですね。



ありがとうございます

8月27日、伊東国際交流協会様よりイベントでのチャリティ募金として義捐金10,812円をお預かりしました。2019年に「Fado no Japão」で来熱された「M.T.E.C.」月本様、アーティストのみなさま、根本特殊化学工業様にはたくさんの物資や義捐金をお寄せいただきました。被災者支援に活用させていただきます。あたたかいメッセージとご支援に心より感謝申し上げます。



ホームページをリニューアル中!

当協会の会員である Keith Allsopp さんにご協力いただき、外国人市民に読みやすいホームページを作成中です。
新しいHPはこちら→<https://www.atami-ai.com/>



講座のお知らせ

ぼうさいこうざ
防災講座 にほんご つ ぼうさいこうざ すいがい そな
やさしい日本語を使った防災講座~水害への備えについて~

- 2021年11月5日(金) 午前10時~ (約1時間)
- 場所:熱海市役所 第3庁舎2階会議室
- 参加対象:熱海市民、外国人市民、 参加費無料
- 講師:+arts 小倉丈佳氏
- 台風がくる前にどんな準備ができるだろう?どこに避難すればいい?水や電気が止まったらどうする?など、「水害への備え」について学ぶ講座です。要申し込み



コロナウィルス感染拡大防止の状況によりオンライン講座に切り替え、会場が変更になる可能性があります。

にほんごきょうしつ Japanese Class 学习日语 일본어 교실 जापानी भाषा Lớp học tiếng Nhật

げーむ くいず にほん ぶんか まな あいさつ かいわ べんきょう
ゲームやクイズをしながら、日本の文化を学びます。挨拶や会話を勉強します。

きんきゅうじたいせんげん あいだ おんらいん にほんご おし
☆ 緊急事態宣言の間は、オンラインで日本語を教えています。

ばしよ: あたみしやくしよ いきいきプラザ Venue: Atami City Hall, Iki Iki Plaza

にちじ: きんようび 10:00-11:30 Day & Time: Friday, 10-11:30 a.m.

と あ あたみこくさいこうりゅうきょうかいじむきょく あたみしやくしよ しょうがいがくしゅうか
問い合わせ: 熱海国際交流協会事務局 熱海市役所 生涯学習課

☎ 0557-86-6233 ✉ kokusai@atami-ai.jp

中国語教室

福田 節子先生 (上海出身)

指導歴20年以上のベテランの先生です。
丁寧なご指導とアットホームな雰囲気の人気クラスです。

日程: 木曜日 (不定期)

時間: 14:00 - 15:00

受講料: 4回で4,800円



韓国語教室

高 敬淑先生 (釜山出身)

☆11月よりスタート

テキストを使って韓国語をたのしく学ぶクラスです。ハングル語が読める人向き。

日程: 火曜日 (不定期)

時間: 10:45-12:00

受講料: 4回で4,800円